

- えられる。したがってこれらの異見や代案を参考資料として再度検討されるように長期計画委員会に依頼する。なお具体的には、大学方面や気象研究所などで検討してもらうとともに福岡の秋季大会で長期計画についての検討会（シンポジウム等）を企画する。
- ロ。福岡の秋季大会には総会を開くことになっていたが、その主要議題である長期計画の学会案が、上記の理由によって成案をえられないので、総会はとりやめる。
- ハ。つぎの草案は春季総会に学会案が提出できることを目標にして準備を進める。
2. 気象集誌、天気編集費について  
気象集誌、天気の編集が現行の編集費では困難なため、天気については各号2,000円集誌については各号3,000円の増加を認める。（天気集誌ともに各号の編集費は10,000円となる。）この資金については、経常的な収入源がえられるような方法を講ずる。  
ただし天気編集費の値上げ中原稿料については、研究ノート中原稿料とも関連するので今回は見送る。
3. 月例会のあり方について  
報告7のイのアンケートがまとまってから議題とする。
4. 学会賞、藤原賞の選考委員について  
下記5名の会員に昭和年度の学会賞、藤原賞の選考委員を依頼する。  
北岡竜海（委員長）、井上栄一（幹事）、高橋浩一郎、孫野長治、荒川昭夫。
5. 関西支部よりの要望書について  
要望事項の(2)について具体的な意味が不明であるので、庶務よりこれを支部に聞きあわせてから議題とする。
6. 国際雲物理会議の募金趣意書について  
募金の趣旨は了承し、文案については組織委員会に一任する。
7. その他  
イ。春季大会は国際雲物理会議の開催予定日（5月24日～6月1日）を考慮して、その前に開催するようにする。  
ロ。定款の改正について11月に福岡で開催予定の全国理事会に趣旨の説明を行う。

## 昭和40年度日本気象学会賞、藤原賞候補者 推薦について

日本気象学会賞、藤原賞候補推薦委員会

昭和40年度学会賞の推薦につき一部の会員の方には下記の依頼文をお届けしましたが、それ以外の方でも適当な候補者について御意見があれば奮って御推薦下さい。

なお、推薦用紙は学会事務局にありますから御請求下さい。

（前略）

私ども（下記）はこのたび昭和40年度日本気象学会賞および藤原賞候補推薦委員を命ぜられました。つきましては両賞の審査の資料として各関係分野での、それぞれの適当候補者（共同研究を含む）1名を御推薦いただければ有難く存じます。日本気象学会賞は「原則として前5ヶ年間の気象集誌に発表された論文を審査してその中から気象学に関し、重要な研究をなした者」を、また藤原賞は「気象学の応用に関する調査、研究、総会報

告、著述等により、日本の気象学および気象技術の向上に寄与した者」をそれぞれ候補者として推薦委員会が選り、理事長はこれを「理事会にかけ、全理事の無記名投票により」で選定されるものであります。御推薦は候補者推薦用紙に御記入の上、勝手ながら、昭和39年12月15日までに下記推薦委員会宛御送り頂ければ幸に存じます。

送附先 東京都千代田区大手町 気象庁 気付  
日本気象学会賞、藤原賞候補者推薦委員会  
昭和40年度学会賞、藤原賞推薦委員会構成  
（委員長） 北岡 龍海  
孫野 長治  
高橋 浩一郎  
荒川 昭夫  
（幹事） 井上 栄一